



つむぐ

No. 15

令和3年 8月 日 発行 袋井市幼児教育センター

袋井の幼児教育で
育成する力

生活習慣	(1)自立心
	(2)道徳性 規範意識の芽生え
	(3)健康な心と体
	(4)社会生活との関わり
学びに向かう力	(5)自然との関わり・生命尊重
	(6)言葉による伝え合い
	(7)協同性
基礎となる力の	(8)思考力の芽生え
	(9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
	(10)豊かな感性と表現

遊びや体験から数量や図形を学びます



「アイスクリームを10個つくろう」と形をつくる



「僕の背より高い！」と自分の身長と玩具の高さを比べ完成を喜ぶ

子どもは生活や遊びの中で、数量や図形などに会い考えます
 子どもは日常生活や遊びの中で数えたり、量を比べたり、様々な図や形を使って遊んでいます。
 大人は子どもに単に知識だけを教えるのではなく、生活の中で必要を感じて数えたり比べたり、組み合わせたりするなどの場面を大切にします。

いろいろな遊びを通して数量や図形の関心を高めます

園では、子どもが感じたことや気付いたことを大切に、友達と数えたり、ものの長さや高さを比べたり、様々な形を活かしてかいたりつくったりするなど、数量や図形に親しむ経験を重ねていきます。

こうした体験の積み重ねによって高まった興味や関心は、その後の学習への関心や生活の中での活用へとつながっていきます。



いろいろな形の箱を倒さないように積み上げたことを喜ぶ

